



平成31年1月16日

ヨコスカ×スマートモビリティ・チャレンジ推進協議会

ヨコスカ×スマートモビリティ・チャレンジ 2019 の詳細プログラム ～強力なサポーターと多彩な先端的モビリティが登場～

2019年1月24日(木)から26日(土)までYRP(横須賀リサーチパーク)にて開催する「ヨコスカ×スマートモビリティ・チャレンジ2019」では、キックオフセレモニーにて、小泉進次郎衆議院議員からのメッセージと、黒岩祐治神奈川県知事、上地克明横須賀市長の列席による力強い応援をいただきます。また、先端的なモビリティを体感できるデモンストレーションや展示、スマートバス停の完成披露が行われます。

さらに、スマートモビリティに関するビジネスアイデアコンテストでは、一次予選を通過した13企画の公開二次審査でのプレゼンテーションによりグランプリ等各賞が決定します。

ヨコスカ×スマートモビリティ・チャレンジ 2019 のプログラムのポイント

ヨコスカ×スマートモビリティ・チャレンジ 2019 は、以下のプログラムで開催いたします。

① 力強い応援をいただくキックオフセレモニー(1/24(木) 14時開始、招待者のみ、NTTドコモ R&D センタ 1号館)

黒岩祐治神奈川県知事、上地克明横須賀市長などの登壇によるご挨拶、小泉進次郎衆議院議員からのメッセージにより、ヨコスカ×スマートモビリティ・チャレンジの取組みの開始に際して力強い応援をいただきます。

引き続き、ヨコスカ×スマートモビリティ・チャレンジ推進協議会から上地横須賀市長に「横須賀スマートモビリティ宣言」が手渡されます。

② 次世代のスマートバス停をイメージしたバス停の完成披露

京急バスのバス停「YRPセンター」(YRP 野比駅方面)が次世代のスマートバス停をイメージして改装されます。多目的な情報提供や5GやLPWAのフィールド実証に利用できるデジタルサイネージを備えています。

③ ご来場者が体験できる先端的なモビリティサービス・モビリティ手段(1/25(金)・26(土)10時開始)

デモンストレーション・展示では、自動運転の自動車・バスや次世代型のパーソナルなモビリティ手段などが一堂に会したスマートモビリティに関する最新の実装や開発の成果(別表参照)を体験できます。

④ アイデアコンテスト(1/24(木) 10時開始、NTTドコモ R&D センタ 1号館)

アイデアコンテストでは、未来のまちづくりを革新する様々な可能性を秘めたスマートモビリテ

イに関するビジネスアイデアを掘り起こすため、大学生や企業、研究者等によるコンテストを実施します。

応募総数 54 件から、厳正な審査により以下の 13 件の一次審査通過企画が選出されました。

1/24 の 10 時からの各企画の公開二次審査でのプレゼンテーションを経て、16 時半からの表彰式にてグランプリ等が発表されます。

タイトル	代表者（チーム）名
ライフコネクト	MegaMouse 合同会社
町全体統一 Wifi を使用したスマートスピーカによる高齢者管理	石垣誠一
移動式コミュニティカフェ「会るっテク」	静岡大学高口研究室 チームてっぺい
RIDE&LEARN - 習い事と移動手段のマッチングアプリ	佐藤和貴子
安全性向上を目指した交通弱者のための位置把握システム	関東学院大学 理工学部 永長研究室 セイフティチーム
地域がうれしい、観光客が楽しい、食と健康のコンシェルジュ	林昌子
自律運転の電動低速車両によるオンデマンド・カーシェアリング	PerceptIn
無線給電で支援するパーソナルモビリティのシェアリングサービス	林寛将, 川原圭博, 山村亮介, 佐藤宏樹, 對尾健二, 新山龍馬, 笹谷拓也, 坂井珠麗亜
バス補完計画	D-☆
横須賀観光案内アプリ	関東学院大学 理工学部 永長研究室ナビチーム
あかりと基地局のインテグレート	山田照明株式会社
スマートスタンプラリー	宮下雄飛
住みたくなる街ヨコスカ ～モビリティ・プラットフォームをハブに～	albedo Japan

(順不同)


⑤ 横須賀市、NTT ドコモ及び京浜急行電鉄の 3 者連携協定の締結(1/24(木) 14 時 30 分開始、NTT ドコモ R&D センタ 1 号館)

2019 年 1 月 24 日(木)に横須賀市、NTT ドコモ、京浜急行電鉄の 3 者はヨコスカ×スマートモビリティ・チャレンジの取組み開始に際して、「スマートモビリティ等を活用したまちづくりに関する連携協定書」を締結いたします。3 者それぞれの強みを生かして、連携を通じて社会課題の解決、新たなビジネスの創出を図り、地域の活性化等を推進することを目的としています。ヨコスカ×スマートモビリティ・チャレンジ 2019 の会場において、3 者の代表者が集合して協定の内容について発表されます。


【別表】

デモンストレーション・展示一覧

テーマ：「誰もひとりにさせないまち」 YRPセンター1 番館		
	出展名	出展者（代表機関）
公道 デモ	①グリーンスローモビリティ（電動小型低速車） 	京浜急行電鉄
	屋外 デモ	②日産ニューモビリティコンセプト ③個人用全地形対応 EV 
	④二人を笑顔にするモビリティ“ZieD-C1R”	ジード
	⑤車イスのまま乗車できる電動3輪バイク（WCV）	ワイディーエス
	⑥未来の「観る・考える」道路へ～スマート電子カーブミラー～	情報通信研究機構
	⑦移動ロボットの自律ナビゲーション（道案尚・人間追従）	防衛大学校
屋内 デモ	⑧自動走行車椅子（「自律型モビリティシステムの開発・実証」（総務省委託研究開発））	日本電信電話
	⑨歩行トレーニングロボット	パナソニック
	⑩WHILL Model C	WHILL
	⑪久留米工業大学「パートナー・モビリティ」（AI 搭載対話型自動運転車いす）～多様な人々が笑顔で溶け込める社会の実現を夢見て～	久留米工業大学
	⑫球乗型モビリティ「オムニライド」	公立諏訪東京理科大学
	⑬ロボット買い物カート	埼玉大学

展示	⑭超小型 4 人乗り電気自動車 FOMM ONE 	FOMM
	⑮ドローン物流を支える無線技術	情報通信研究機構
	⑯<小さい交通>肩入れ宣言	ネクスト・モビリティ・コミュニティ
	⑰自動移動販売コンビニロボット CAP×SELL	菊井 海
	⑱在宅医療用対話ロボットとセンサーを活用した、看護師による“24 時間遠隔みまもりサービス”『おるけん』	ワーコン
	⑲インフラ点検用空中・水中・水上ドローン	電力中央研究所

テーマ：「新たな価値をつくるまち」 NTT ドコモ R&D センタ 2 号館		
	出展名	出展者（代表機関）
公道 デモ	①5G 時代の自動運転 	NTT ドコモ
	②自動走行車両（「自律型モビリティシステムの開発・実証」 （総務省委託研究開発））	日本電信電話
	③AI 運行バスの MaaS プラットフォームへの進化～移動最適化+サービス連携による日本版 MaaS 実現の取り組み～	NTT ドコモ
屋外 デモ	④プロパイロットパーキング	日産自動車
	⑤モビリティロボット「セグウェイ」	セグウェイジャパン
	⑥ 5G デモバス	NTT ドコモ
	⑦私立大学唯一、自動運転の公道実証実験車両	埼玉工業大学

屋内 デモ	⑧パーソナルモビリティによる地域生活コンシェルジュ 	NTT ドコモ、テムザック
	⑨ニューコンセプトカート	NTT ドコモ
屋外 展示	⑩水素エネルギー社会に向けた取り組み	日本エア・リキード
展示	⑪浮遊球体ドローンディスプレイ	NTT ドコモ
	⑫よそ見検知	日本電気
	⑬生体情報を活用した乗務員・ドライバーの感情分析	日本電気
	⑭移動需要予測技術の実用化～タクシー需要予測サービス「AI タクシー (R)」	NTT ドコモ
	⑮セルラーV2X 共同実証	NTT ドコモ
	⑯生体情報を用いた体感型 VR 自動運転検討用シミュレーター	ネクスティエレクトロニクス
	⑰慶應義塾大学 SFC 大前学研究室	慶應義塾大学
	⑱5G を活用した建設機械の遠隔制御	NTT ドコモ

テーマ：「活かに溢れるまち」 YRP5 番館		
	出展名	出展者（代表機関）
公道 デモ	①低速循環自動運転バス 	群馬大学
	②三輪電気自動車「エレクトライク」	日本エレクトライク
屋内 デモ	③自立移動型・多言語対応案内ロボット「おーい」	下町ロボット
	④自動運転とロボットネットワーク	芝浦工業大学
	⑤スマートロボット（コミュニケーションを中心として）	見果てぬ夢
	⑥農業用ロボット	アイ・イート
展示	⑦みうらレンタサイクル	みうらレンタサイクル運営協議会
	⑧Easy Ride	日産自動車
	⑨V2X による自動運転／Connected Car への取組み	沖電気工業
	⑩安定した通信サービスとモビリティ	KDDI
	⑪国産ドローンと2K無線映像リアルタイム伝送	光電製作所
	⑫海洋スマートモビリティ	海洋研究開発機構

出展物の詳細や最新情報、体験乗車申込み情報は、ホームページ
[\(https://www.sukamobi.com/exhibition/\)](https://www.sukamobi.com/exhibition/) を参照ください。

【参考】

・シンポジウムで未来のまちづくりに向けた議論や対話等を実施（1/25（金） 10 時開始、NTT ドコモ R&D センタ 1 号館）

シンポジウムでは、有識者、交通事業者等の企業、地方自治体、市民の方々が一体となって、横須賀スマートモビリティ宣言の趣旨を踏まえ、今後、スマートモビリティに関する技術やサービスを駆使して、どのような社会や市民生活を築き上げていくかに関するビジョンや方法について議論や対話を行います。

・スマートモビリティによる未来のまちづくりを宣言（横須賀スマートモビリティ宣言）（1/24（木） 14 時開始、招待者のみ、NTT ドコモ R&D センタ 1 号館）

ヨコスカ×スマートモビリティ・チャレンジ推進協議会は、以下のような技術・サービスの実現を通じて、横須賀における未来のまちづくりに挑戦することを宣言します。

- ① 高齢者や障がい者、困っている人が、快適に生き生きと生活を維持できるモビリティの技術・サービス
- ② 維持コストが小さく、高効率かつクリーンで安全な都市や交通を支えるモビリティの技術・サービス
- ③ 地域外や海外から人を呼び込み、域内を楽しく周遊できるモビリティの技術・サービス



【報道発表のお問い合わせ】

○ヨコスカxスマートモビリティ・チャレンジ 2019 全般
(全体、項目①、項目③)

ヨコスカxスマートモビリティ・チャレンジ推進協議会事務局
 (株式会社横須賀テレコムリサーチパーク、YRP 研究開発推進協会) 担当：安井、佐竹
 電話：046-847-5008 メール：yokosuka-mobi@yrp.co.jp

○スマートバス停 (項目②)

京浜急行電鉄株式会社広報部報道課 担当：菊池・澁谷
 電話：03-3280-9129 メール：keikyuu-koho@keikyu.co.jp

○アイデアコンテスト (項目④)

ヨコスカxスマートモビリティ・チャレンジ ビジネスアイデアコンテスト事務局
 (株式会社三菱総合研究所内) 担当：田中、目黒
 電話：03-6705-6015 (受付時間 平日 10:00~17:00) メール：yokosuka-mobi@mri.co.jp

○3者連携協定 (項目⑤)

横須賀市経済部企業誘致・工業振興課 担当：山口、上野
 電話：046-822-8125 メール：y-mobi@pref.yokosuka.jp

■ヨコスカ×スマートモビリティ・チャレンジ 2019 の開催概要

- 目 的 横須賀市、株式会社横須賀テレコムリサーチパーク及びYRP研究開発推進協会は、2018年3月、YRPや横須賀市に、ニーズに合わせた様々なスマートモビリティ（賢く優れた移動性）を確保・展開する取組み「ヨコスカ×スマートモビリティ・チャレンジ」を開始しました。この「ヨコスカ×スマートモビリティ・チャレンジ」の取組みを広く周知し、技術・サービス分野から利用分野まで幅広い方々とともにイノベーションを起こすきっかけとすることを目的として開催します。
- 開催日程 プレビューデー：2019年1月24日（木）
一般公開日：2019年1月25日（金）、26日（土）
- 場 所 横須賀リサーチパーク（YRP）内 YRPセンター1番館、NTTドコモR&Dセンタ1号館 ほか
住 所：神奈川県横須賀市光の丘3-4
アクセス：京急線YRP野比駅から京急バス7分「YRPセンター」下車
- 主 催 ヨコスカ×スマートモビリティ・チャレンジ推進協議会
（会長：横浜国立大学 中村 文彦 理事・副学長）
- 後 援 総務省関東総合通信局、経済産業省関東経済産業局、国土交通省関東運輸局、神奈川県、（国研）情報通信研究機構、（国研）海洋研究開発機構、
（特非）ITS Japan
- ご来場に当たって
※無料でご入場いただけます。
※今後の検討により時間、場所などが変更されることがあります。
※最新情報は、<https://www.sukamobi.com> に掲載します。
※シンポジウム及び一部の体験乗車は、事前登録が必要です。関連情報は、随時
<https://www.sukamobi.com> に掲載します。
※ご来場は公共交通機関のご利用をお願いいたします。
- イベント WEB サイト：<https://www.sukamobi.com>
※ヨコスカ×スマートモビリティ・チャレンジ 2019 の最新情報を掲載
- イベント事務局
ヨコスカ×スマートモビリティ・チャレンジ 2019 事務局
（株式会社横須賀テレコムリサーチパーク、YRP 研究開発推進協会 担当：佐藤、二本木）
電話：046-847-5155（受付時間 平日 10：00～17：00）
メール：sukamobi2019@yrp.co.jp

■プログラム概要（予定）

1月24日（木）プレビューデー（招待者のみ）

10時～10時45分

- ◆開会式（開会式招待者のみ）【場所】Y R Pセンター1番館Y R Pホール
開会あいさつ、来賓あいさつ、
ヨコスカ×スマートモビリティ・チャレンジ2019の概要説明

10時～12時30分

- ◆アイデアコンテストプレゼンテーション【場所】N T TドコモR & Dセンタ1号館

14時～14時30分

- ◆キックオフセレモニー（キックオフセレモニー招待者のみ）
【場所】N T TドコモR & Dセンタ1号館
開会あいさつ、来賓あいさつ、応援メッセージ、
横須賀スマートモビリティ宣言

16時15分～17時

- ◆アイデアコンテスト表彰式【場所】N T TドコモR & Dセンタ1号館

10時～16時

- ◆自動走行デモンストレーション・体験乗車、展示
（一部の体験乗車は事務局であらかじめ時間を指定させていただきます。）

1月25日（金）一般公開日

10時～17時 ◆シンポジウム（事前登録者優先）【場所】N T TドコモR & Dセンタ1号館

10時～17時 ◆自動走行デモンストレーション・体験乗車、展示
（一部の体験乗車はホームページから事前登録が必要です）

1月26日（土）一般公開日

10時～11時 ◆乗り物アイデアイラストコンテスト表彰式
【場所】N T TドコモR & Dセンタ1号館

11時～16時 ◆シンポジウム（事前登録者優先）【場所】N T TドコモR & Dセンタ1号館

10時～16時30分 ◆自動走行デモンストレーション・体験乗車、展示
（一部の体験乗車はホームページから事前登録が必要です）

16時30分 ◆閉会

■ヨコスカ×スマートモビリティ・チャレンジについて

横須賀では、スマートモビリティ（賢く優れた移動性）の開発・実装を推進し、この成果をまちづくりに生かすことによって、地域の課題解決や、活性化を図る取組みを進めています。この取組みにより、横須賀において次世代モビリティ社会を先駆的に実現し、横須賀モデルとして日本・世界に展開することにより、新たな産業の中心地を目指します。

「ヨコスカ×スマートモビリティ・チャレンジ」は、産学官で構成するヨコスカ×スマートモビリティ・チャレンジ推進協議会（事務局：横須賀市、YRP 研究開発推進協会、(株)横須賀テレコムリサーチパーク）が、横須賀をフィールドとしたスマートモビリティの開発・実証を推進し、同市における関連・周辺産業の集積を図るとともにこれらの産業資源を活用して、新たな事業の創出、社会課題の解決、地域活性化等を促進しています。

■目標

横須賀が目指す3つのまちづくりのビジョン（「誰もひとりにさせないまち」、「新たな価値をつくるまち」、「活かに溢れるまち」）を、スマートモビリティの社会実装をつうじて先駆的に実現するとともに、これらの成功モデルを日本・世界に展開することにより、横須賀を次世代モビリティに係る新たな産業の中心地とする。

■推進体制

平成30年3月、この取組みを産学官の関係団体が一体となって総合的に推進するため、「ヨコスカ×スマートモビリティ・チャレンジ推進協議会」が設置されました。

会長	中村 文彦	横浜国立大学 理事・副学長
副会長	規矩 大義	関東学院大学 学長
委員	荒川 堯一	横須賀市観光協会 会長
委員	岡田 英城	横須賀商工会議所 議員
委員	掛江 浩一郎	関東運輸局 局長
委員	角野 然生	関東経済産業局 局長
委員	門脇 直人	(国研)情報通信研究機構 理事
委員	黒瀬 泰平	関東総合通信局 局長
委員	篠崎 資志	(国研)海洋研究開発機構 理事
委員	鈴木 立也	横須賀市社会福祉協議会 会長
委員	田中 茂	横須賀市 副市長
委員	玉垣 努	神奈川県立保健福祉大学 リハビリテーション学科 作業療法学専攻 専攻長
委員	土井 三浩	日産自動車(株) 総合研究所 所長
委員	中村 寛	(株)NTT ドコモ 取締役常務執行役員(CTO)、R&D イノベーション本部 本部長
委員	原田 一之	京浜急行電鉄(株) 取締役社長
委員	堀 洋一	東京大学大学院 新領域創成科学研究科先端エネルギー工学専攻 教授
委員	山本 洋一	神奈川県 産業労働局 産業部 部長

顧問	小泉 進次郎	衆議院議員
顧問	鈴木 茂樹	総務省 総務審議官
顧問	上地 克明	横須賀市 市長

■ヨコスカ×スマートモビリティ・チャレンジ 2019 シンポジウム プログラム

※最新情報は、<https://www.sukamobi.com> に掲載します。

※シンポジウムは、事前登録が必要です。登録関連情報は、随時 <https://www.sukamobi.com> に掲載します。

■会 場： 横須賀リサーチパーク（YRP）NTTドコモR&Dセンタ1号館

■アカデミア・ビジネスシンポジウム

1月25日（金）

プログラム	時 間	題 名	講 師（敬称略）
基調講演	10:00-10:30	未来の都市を支える交通システムへの期待	中村 文彦 横浜国立大学 理事・副 学長
プレゼンテ ーション1	10:40-11:10	自動車業界が描く将来のモビリティビジョン	三崎 匡美 日産自動車(株) 渉外部 シニアエンジニア
プレゼンテ ーション2	11:20-11:50	新たなインターネットテクノロジーが生み出す未来 のモビリティの姿	山本 彰祐 (株)ディー・エヌ・エー オートモーティブ事業 部 事業推進部長
プレゼンテ ーション3	13:00-13:20	横須賀発 スマートモビリティの取り組み	上之段 功 横須賀市 経済部 部長
パネルディ スカッショ ン1	13:35-14:40	<p>◆持続可能な郊外住宅地を支える交通システム</p> <p>市民生活や地域経済を支える交通システムは、高齢化、人口流出が進展している中で変革を迫られている。</p> <p>まちの構造としても、地域ごとに商業集積地、病院、行政出先機関などの必須の生活インフラが集約され、それらとの円滑な往来を実現できるコンパクトシティ化が求められてきている。また、横須賀では丘陵が多く平地が少ない地形に起因する個人の移動の困難さも大きな課題となっている。</p> <p>このようなまちづくりが求められている中で、利用者のための交通システム、実際の実証導入の現場において直面する課題などの点に各分野の識者、専門家が意見を述べ合う。</p>	<p>【モデレーター】</p> <p>有吉 亮 横浜国立大学大学院 都市イノベーション研 究院 特任准教授</p> <p>【パネリスト】</p> <p>三浦 良平 国土交通省 総合政策局 公共交通政策部 交通計 画課 地域振興室長</p> <p>加藤 薫 ヤマハ発動機(株) 先進技 術本部 NV 事業統括部 企画部 部長</p> <p>一條 英仁 京浜急行電鉄(株) 生活事 業創造本部 まち創造事 業部 課長</p>

プログラム	時間	題名	講師（敬称略）
パネルディスカッション2	14:40-15:55	◆モビリティ技術やプラットフォーム技術で実現するスマートモビリティ・ソリューション 横須賀の地形的な問題などから生じるモビリティに関する諸課題に対してどのような技術をどのように利用して解決に導くのか、リーズナブルなコスト負担で自律的に成立させるために必要なことは何かなどについて、自由に解決方を発想していく。	【モデレーター】 杉浦 孝明 (株)三菱総合研究所 営業本部 副本部長(自動車・道路交通担当) 【パネリスト】 小林 貴訓 埼玉大学 理工学研究科 准教授 末次 光 (株)NTT ドコモ 第一法人営業部 第五営業/課長 島崎 竹司 衣笠地区連合町内会 会長
プレゼンテーション4	16:10-16:50	モビリティ2.0～「スマホ化する自動車」が地域経済の活性化を促す～	深尾 三四郎 (株)浜銀総合研究所 調査部 産業調査グループ 主任研究員

■市民シンポジウム

1月26日(土)

プログラム	時間	題名	講師（敬称略）
プレゼンテーション5	11:10-11:50	100年後のクルマ ～モータ/キャパシタ/ワイヤレスへのパラダイムシフト～	堀 洋一 東京大学大学院新領域創成科学研究科先端エネルギー工学専攻 教授
プレゼンテーション6	13:00-13:40	日本発の空飛ぶクルマ“SkyDrive”の開発	佐藤 剛裕 (株)SkyDrive 事業開発 マネージャー
プレゼンテーション7	13:50-14:30	<小さい交通>の大きな可能性	大野 秀敏 ネクスト・モビリティ・コミュニティ代表、(株)アブルデザインワークショップ代表取締役所長、東京大学名誉教授

プログラム	時間	題名	講師（敬称略）
パネルディスカッション3	14:50-16:00	<p>◆スカモビで私たちの横須賀を輝く街に！</p> <p>横須賀市は人口 40 万人程の中核都市であり、海も山もあって食べものが美味しく、観光地としてのポテンシャルは高いので、それらの資源を生かし、未来を背負っている子どもたちがずっと住み続けてもらえるような魅力あふれる街を目指す。</p> <p>一方で横須賀は坂道や階段が多いため老人の在宅介護が難しいところも多いため、1日も早く解決することが望まれる。</p> <p>これらの課題を解決し、一方で横須賀の輝く未来をつくっていくために、スマートモビリティをどう生かせばいいのか、横須賀を「輝かせる」ために頑張っている方々が、それぞれの考えを述べ合う。</p>	<p>【モデレーター】</p> <p>楠田 悦子 モビリティジャーナリスト</p> <p>【パネリスト】</p> <p>千葉 理恵子 (株)ティー・エム・シー 専務取締役(三浦半島女性ビジネスネットワーク代表)</p> <p>寺元 敏光 東京湾フェリー(株) 営業部 常務取締役</p> <p>永野 寛 神奈川県社会福祉事業団 横須賀老人ホーム 北下浦地域包括支援センター 管理者</p>